

◆ 編集後記 ◆

児童生徒への端末配備と校内での接続環境整備がされて約半年が経ちました。ネットの調べ活動がぐっと身近になったことをはじめ、Google ドライブ(クラスルーム)を介しての資料配付や提示、人数の密を回避するための Meet 利用など学校での学びや生活で利活用が進みつつあると思います。ICT は便利ですが、培われた教師のスキルを代替するものでなく、用いることで学びの質や効率を高め得るツールの一つです。日常で触る機会を通して自転車を乗るように端末に慣れ、これまでの学び方が ICT とハイブリッドすることで充実していくよう、この所報がその一助になればと思います。

稚内市教育研究所 副所長 中野 悟

●今年初めて所員として研究活動に参加させていただいています。これまで所員の方々が、陰ながら学校現場に役立つような研究活動を進めてくださっていたことに気づき、改めて感謝の気持ちでいっぱいです。今回の ICT 教育の特集をぜひご覧いただき、少しでも皆さんのお役に立てればと思っています。

稚内南中学校 松本ちひろ

●所員としての活動を通して授業での ICT 活用について多くのことを学ぶことができました。

今後は自身の授業に役立てるだけではなく、所員活動を通して得た学びを自校に還元したいと思います。

潮見が丘中学校 中岡 萌



●初めての所報作成。他の小学校の先生や中学校の先生方の実践をたくさん学ぶことができました。今回は初めて導入されたタブレット端末についての所報を作成しました。先生方の授業実践だけでなく、使用上のルールについての困り感や各学校でのルールについても共有することができました。今回所員会議で学んだことを自分だけの実践にとどめず、学校内でも還元していきたいです。

稚内南小学校 相澤 昇吾

●GIGA スクール構想による、一人一台メディア機器の配布により驚きと戸惑いを感じながらこれまで活用の方法を考えていましたが、今回の編集活動を通して多様な使い方があることに気づくことができました。全てを ICT 頼りにするのではなく、効果的な場面で ICT を活用していくことで子ども達の学習理解に繋げていきたいです。

稚内中央小学校 林 彩夏



● ICT元年です。各学校の先生方はタブレットを活用し、試行錯誤しながら「主体的で対話的な、深い学び」を実践しています。特に若い先生方は様々な使用方法で生徒達を引きつけています。しかし、利便性は諸刃の剣で、解決すべき課題も中にはあります。今回の所報では、現場の先生方の実践例を数多く掲載しています。少しでも参考になれば幸いです。

稚内南中学校 下山 由香



令和3年度稚内市教育研究所

【所長】船木真澄 【副所長】中野悟 【事務局長】松本ちひろ 【専任所員】佐近強 日野登志子
【所員】林彩夏 相澤昇吾 加藤愛 菊池大 泉雄大 下山由香 太田千絵 中岡萌